

令和6年度
第1回西脇市総合教育会議
議事録

令和6年9月26日

西脇市教育委員会

西脇市総合教育会議議事録

1 開催日時

令和6年9月26日（月）午後4時～

2 開催場所

西脇市役所 大会議室

3 出席者

(1) 市長及び教育委員会

市長	片山象三	教育長	遠藤一博
教育委員	岸本みのり	教育委員	柴垣美紀
教育委員	藤尾寛	教育委員	和多眞乗

(2) 事務局

市長公室長	早崎育子
政策推進課政策担当主幹	澤田康生
教育管理部長	高橋芳文
教育創造部長	足立英則
教育委員会参事	竹内誠
学習環境規模適正化推進担当次長	鈴木成幸
生涯学習課長	長谷川広幸
学校教育課長	衣川正昭

4 傍聴者

7人

5 会議の概要

- ・ 市長あいさつ
- ・ 協議・調整事項
 - (1) 西脇東中学校と黒田庄中学校の統合に関する地域意向調査結果等について
 - (2) 部活動の地域移行の取組状況について
- ・ その他

○事務局

本日は大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今から、令和6年度第1回西脇市総合教育会議を開会いたします。

私は、本日、事務局を務めさせていただきます教育管理部長の高橋でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして片山市長から御挨拶をいただきます。市長、よろしくお願いいたします。

◎市長

総合教育会議の開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

平素より、教育委員の皆様方には、本市教育行政の推進に格別の御支援、御尽力を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、今回の総合教育会議は、教育委員会からの招集を求められことから、本日、開催することとなりました。

協議、調整の内容は、主に「西脇東中学校と黒田庄中学校の統合に関する地域意向調査結果等について」と「部活動の地域移行の取組み状況について」の2点です。

両事項とも、本市教育行政において重要であります。子どもたちのより良い教育環境整備のため、また、今後の本市のハード面、ソフト面におけるまちづくりにも大きく影響するものです。

本日は、限られた時間ではありますが、委員の皆様方の忌憚のない御意見を賜り、活発な議論ができればと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

はなはだ簡単ですが、開会に当たってのあいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○事務局

ありがとうございました。この後、議事に移らせていただきますが、会議の議長につきましては、西脇市総合教育会議運営要綱に基づきまして、片山市長にお願いしたいと思います。市長、よろしくお願いいたします。

◎市長

それでは、まず、本日の傍聴希望者数を事務局から報告願います。

○事務局

本日の傍聴希望者は、7名おられます。

◎市長

ただいま、事務局から報告がありましたとおり、本日の傍聴希望者数

は、7名となっております。傍聴要綱で定める定員は、原則5名となっており、定員を上回っておりますが、傍聴要綱の但し書きに、「会場の都合により定員を変更することができる。」とされています。傍聴希望者7名が受け入れできる会場ですので、傍聴を認めることとし、このまま会議の方を進めていきたいと思っております。

◎市長

それでは、まず、議事録署名委員につきまして、私から指名をさせていただきます。岸本委員、藤尾委員、両氏にお願いします。議事録の署名をもって「運営要綱」第5項第2号の会議録の承認とみなしますのでよろしくお願いいたします。

◎市長

引き続きお手元の次第に従いまして進めさせていただきます。次第2の協議・調整事項(1)、「西脇東中学校と黒田庄中学校の統合に関する地域意向調査結果等について」を担当課から説明をお願いします。

————— [説 明…記述省略] —————

◎市長

説明が終わりました。この協議調整事項については、先ほど開催された定例教育委員会において報告案件であったと聞いております。最初に、教育長の方から先ほどの定例教育委員会の意見交換の状況等について、何かございますでしょうか。

○教育長

先ほど行われました教育委員会の中で、この意向調査の結果報告を受けた後の、意見交換の内容についての概要をお伝えしたいと思います。

まず資料1ページについては特に御質問もなくご理解をいただきました。2ページについてですが、設問4「誰の意見をより大切にすべきと考えますか」に対して、保護者の意見を優先すべきという回答が全体で60%を超える結果となったことについて、やはり保護者の意見に重きを置いて判断していくべきだろうという意見をいただきました。

次に3、4ページの設問6「子どもの良好な教育環境の確保のために重要だと考えること」に対して、通学路及び通学手段の安全や、災害の恐れが少ないことについて重視すべきという意見をいただいたほか、今後の生徒数の推移を見据えた適切な施設規模かどうかにも重視すべきという意見もございました。

5ページの設問7「学校統合によって、一定の学習集団が確保されること等で実現される教育環境として、あなたが特に期待すること」に対して、主体的・対話的で深い学びを今後子どもたちにいかに提供できる

かを踏まえた判断をすべきであるという意見をいただきました。他には子ども、保護者及び教員にストレスなく安心して学校生活を送りながら統合が進められるべきであるという意見もございました。概略については以上です。

◎市長

慎重に審議をしていただいているという点について承知いたしました。ちなみに先ほど報告の中でありました自由記述による意見についてはいつごろまとまる予定でしょうか。

○事務局

とりまとめの作業に入っておりますが、内容について、公表するのにあまり適切でない表現が含まれている部分があり、その部分の公表の是非や方法について現在検討をしているところでございます。公表の時期については来週を予定しておりますが、先ほど申し上げた点の調整がつき次第ということで、ご理解賜りたいと思います。

◎市長

個人のプライバシーの問題もあるとは思いますが、一方で記述内容を変えたり、一部伏せたりすることについて事務局の判断で行うのもあまり好ましくないとは思いますが、この点については非常にデリケートな問題であると思っておりますが、どのように調整しようと考えておられますか。

○事務局

その点も含めまして教育委員会の中で十分協議をして決めていきたいと考えております。具体的には表現はできるだけ変えずそのまま市民の皆様へ公表する形で調整をさせていただきたいと思っております。

◎市長

すると、アンケート記述の原文をそのまま、一切変えずに公表しようと考えているということですね。

○事務局

はい。基本的にはその考え方で進めていきます。

◎市長

透明性を担保することと、表現が公表するものとして適切であるかという判断は、非常に難しいものであるとは思いますが、大事な点でもありますので、事務局だけではなく、委員の皆様方にも議論や意見をいただきつつ、市民の生の声をできるだけそのまま公開することが大事であると考えます。

○教育長

先ほど開催されました定例会で、委員の方に意向調査の結果について意見交換をしていただいたところであります。さきほどの意見に加えてこの場で改めて、または追加で仰りたいことがありましたらお願いできますか。

○委員

統合の問題についてはこれからも考えさせていただくのですが、市長へのお願いとしまして、どちらの学校になっても、その後の学校の活用をしっかりと考えていただきたいと思います。それが西脇市にとってもプラスになっていくと思いますので、早い段階で何らかの行動をとっていただくことを願っております。

◎市長

ご意見ありがとうございます。文科省のホームページ等で様々な活用事例が掲載されており、市長部局としても、委員の仰るとおり地域にとってプラスになることだと思いますので、慎重かつできるだけ早く考えていきたいと思っています。また地域の方に活用事例の提案について丁寧に説明させていただきながら進めていくのが大事であると思っています。

○委員

最近学校訪問等をしておりますと、学校環境、特に建物がかなり傷んでおりました、子どもたちがかわいそうだという気持ちを抱いております。統合がこれから進んでいく中で、難しいとは思いますが、できる限り、学校環境を整備していただきたいと思っています。そして先ほど柴垣委員が仰いました、統合後の学校の跡地利用について、未来ある計画を提示していただければありがたいと思います。

◎市長

校舎の雨漏り等についてはできる限り早急に修繕対応していかなければならないことは承知をしております、現場で修繕対応可能な職員も配置させていただいていることで、教育委員会には今まで以上に迅速な対応をお願いしたいところですし、また修繕に係る予算が足りない場合は補正等による対応も可能ですので、早めに予算要求いただく、この点については教育委員の方からも修繕が必要な箇所についてお気づきのことがありましたらぜひ提言いただけたらと思います。

一方で教育現場のDX化に伴う設備投資も今後かさんでくる見込みです。一番大事なのは学校に通う児童生徒の安全・安心であります、西脇市は、全国の中でもDX化について先進的に取り組んでおり、この取り組みについてもおろそかにはできないと考えております。限られた予算を今後どのように教育に投資していくのかについては、教育委員の方に

も慎重に考えていただき、同意を得たうえで決めていきたいと考えているところです。

○委員

学校を統合をするにあたって通学のご心配をされている保護者の方が多いと思いますが、この点に関して、通学バスを利用するという選択がなされたときに、予算の都合でバスの運行ルートを見直さざるを得なくなり、通学時間が長くなるといった、児童生徒に不都合が生じることがないように、通学の利便性を永続的に確保していただくことを切に願います。

また、先ほど柴垣委員が仰っておられましたが、統合される側の学校についてですが、その地域にお住いの方は自身の土地についての想いというものが当然ありますので、学校がなくなって寂しくなったと感じさせることなく、学校がなくなる前よりも活性化し、地域の方が生き生きと過ごせるような取り組みも合わせて早めに考えていただけたらと思います。

◎市長

通学方法の確保につきましては、先進地の取組を参考にしながら検討していただきたいということをお願いしております。例えば児童生徒の通学環境ごとに、JR、バス、自転車等の複数の交通手段を活用して、より便利な仕組みづくりができたらと考えています。

また、統合後の地域の活性化は一番大事なところだと思っておりますので、様々な活用事例を参考にしたいと思っております。委員の方からも案がありましたらご提供をお願いしたいと思います。

○委員

先ほどJRのお話をされましたが、通学に使用するということとなりますと、運行停止になることがままありますので、保護者の立場からすると、少し不安があります。加えて教育のDX化に西脇市が力を入れられている現状は理解していますが、西脇市の豊かな自然環境を生かした、主体的で対話的な学びを提供するために、ハードよりソフト的な教育に予算をつけていただけることを願います。

◎市長

通学手段については、JR任せにするのではなく、地域に住まう自分たちで確保しようというお声も先日の協議会でいただいておりますので、丹波市とも連携して考えていきたいと思っております。

また、ソフトに重点を置いた教育は大変重要であると捉えています。デジタル教材をうまく使って効果的な学習に生かす取り組みを市内全域

に広げて教育のレベルを高めていきたいと思えます。

本協議・調整事項(1)において、西脇東中学校と黒田庄中学校の統合に関する地域意向調査結果等について意見交換を行い情報は共有されました。教育委員会におかれましては、児童生徒のことを第一に考えていただき、地域の保護者等の意見を十分に反映させ、西脇東中学校と黒田小中学校の統合に取り組んでいただきますようお願いいたします。

次に、次第2の協議・調整事項(2)、「部活動の地域移行の取組状況について」を担当課から説明をお願いします。

————— [説 明…記述省略] —————

◎市長

説明が終わりました。

この協議調整事項については、先ほど開催された定例教育委員会でも報告案件であったと聞いております。

部活動地域移行については、G I G Aスクール構想とあわせて、教育現場における100年に1度の大改革であります。第2回の協議会で令和9年に休日における部活動の地域移行がスタートするという方向でほぼ結論付けられたと思っております。

○事務局

最終的に教育委員会に諮ることになりますが、その方向で行きたいと考えています。また、協議会の中で休日に限らず平日も実施したらどうかという意見もありますが、こういった影響が出るかわからないのでまずは休日から地域移行を行い、平日実施についても並行して検討したいと考えております。

◎市長

休日の部活動の地域移行が先行する場合、休日だけ学校以外の場所に集まって練習して、平日は学校で練習するようなイメージになるのでしょうか。

○事務局

例えば吹奏楽部の場合、楽器を持って、平日に学外へ移動するのは難しいと考えております。地域移行のことは、部活動の内容によってはハードルが高い部分もあると考えています。

◎市長

1つ1つの部活動を考えると、様々な問題点が出てくると思いますが委員の方から何かご意見ありましたらお願いできますか。

○委員

費用負担や保険について、児童生徒とその保護者の方の負担になるこ

とはなるべく少なくなるように考えていただきたいなと思います。

◎市長

当然保険料の負担の問題は出てくるので、考えていかなければいけないと思います。

○委員

確認ですが、地域移行が完了した場合は、学校のグラウンド等の施設は一切使わないということですか。

○事務局

地域移行完了後も学校の施設で利用可能なものは使わせていただきたいと思っております。

○委員

地域移行した場合に、地域での指導者が急にやめられることになった場合、指導者が複数いらっしやらないと、地域クラブが存続できなくなり、児童生徒が活動種目を変えざるを得なくなるのが危惧されるのですが、そうした問題について協議会として把握しておられるでしょうか。

○事務局

部活動を指導していただく方については、まずアンケート調査をさせていただいて、地域の方がどれだけ引き受けてくださるのかということをもまず把握したいと思っております。ある種目について1人しかいらっしやなければ、委員が仰るようにけがや病気になったときに部活動ができなくなることがありますので、できれば複数の方で引き受けていただきたいと思っております。

○委員

最終的には平日の部活動も地域移行することを目指されていると思いますが、指導される方も平日は働いておられる方がほとんどですので、部活動の実施が夜になってしまうことが多くなると思います。そうしますと、学校との連携というよりは、地域のクラブ活動を育てて、そこへ子どもたちが通うというイメージがむしろ近いのではないかと思います。

○事務局

確かに活動時間については、指導していただける方が働いている場合であれば、活動時間帯は、おのずと夜になってくると考えております。地域ですでにあるクラブ活動に中学生が参加するという形であっても、それがあればいいですが、ない場合や、子どものニーズに合うものでない場合は、今後育てていく必要もあると認識しております。

◎市長

この部活動の地域活動につきましては、数年前に文科省から要請があ

った際に、ほとんどの市町村ができないという反応でありましたが、ここ2年、3年で、大きくシフトして、先駆的な取り組みをされている市町村も出てきました。多可町は令和8年度に中学校が1つに統合されますので、その時点で学校の部活動が全て地域に移行すると聞いております。進捗や問題点について、情報を収集していただいで参考にしていただきたいと思ひます。

それでは本協議・調整事項(2)において、部活動の地域移行の取組状況について、協議・調整のうえ共有されました。今後、本日の私の意見も考慮いただきながら、教育委員会において、十分に協議をされ、基本方針を決定いただきたいと思ひます。

それでは、「部活動の地域移行の取組状況について」を終わります。

次に、次第3、「その他」ということで、他に何かございますでしょうか。御発言されたいことがおありでしたらお願いいたします。

特に御意見がないようですので「その他」を終わります。事務局からの連絡事項はありますか。

○事務局

次回の総合教育会議の開催日時につきましては現在のところ未定です。協議事項等を踏まえ、適時、事務局が調整をさせていただきますのでよろしくお願ひいたします。

◎市長

それでは、これをもちまして、令和6年度第1回総合教育会議を閉会いたします。お疲れ様でした。

————— 閉 会 —————